

安全報告書

(2019年度版)



災害直後



復旧後

(30年度7月豪雨)

北近畿タンゴ鉄道株式会社

1 はじめに

鉄道事業再構築による京都丹後鉄道の上下分離後、令和元年度で折り返し点の5年が経過しました。

この間、鉄道施設、車両などを保有する当社は、それらの整備に懸命に取り組んでおりますが、平成28年9月の沿線での落石発生、平成29年から2年連続の豪雨や台風の自然災害により大きな被害を受けました。

これらの被害やたび重なる被害箇所については、国や沿線自治体の格別な支援により、復旧や防災対策の工事を順次進めており、平成30年の豪雨や台風被害については、令和元年度内に完了するとともに、令和元年度から2年に亘る防災対策工事については、令和元年度に2箇所が完成し、令和2年度には5箇所の実施予定です。

しかしながら、鉄道施設全般の老朽化が進み、想定外の被害発生も懸念される中で、公共において基盤施設を支えていくことが、地域鉄道にとって欠かせない要件となっております。

令和2年度においても、運行を担うWILLER TRAINS株式会社と連携し、利用いただく皆様の御期待に応えられるよう基盤整備に努め、安全な運行を確保してまいりますので、皆様の御理解と御支援をよろしく申し上げます。

この報告書は、鉄道事業法に基づき輸送の安全確保の取組や安全にかかわる情報を公表するものです。御一読くださり、御意見をいただければ幸いです。

2 安全に関する基本方針

社員一同安全第一の意識を持って、安全管理規程をはじめ各種規程を遵守するとともに、安全に関する行動規範に基づき、社内に安全風土、安全文化を構築します。

基本方針

当社は、安全に関する基本的な方針を次のように掲げ、社長以下社員全員に安全に係る行動規範として周知・徹底しています。

- (1) 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともに、これを遵守し、
厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故、事故の恐れのある事態、災害その他輸送の安全確保に支障を及ぼす恐れのある
事態が発生したときは、人命救助を最も優先に行動し、速やかに安全適切な処置を取ります。
- (6) 情報はもれなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

3 「安全への取組み」について

上下分離による鉄道事業再構築事業5年目の令和元年度も、鉄道施設等を保有する第三種鉄道事業者として、運行事業を担う第二種鉄道事業者の「WILLER TRAINS 株式会社」との間で締結した「鉄道施設等の使用及び管理等に関する契約書」に基づき、設備投資事業を行うとともに、鉄道施設及び車両の維持修繕を第二種鉄道事業者に委託して実施しました。

鉄道施設の保守管理は当社が主体であることから、両社間で緊密な連携を図り、疑義あるごとに第二種鉄道事業者へ指示を行うとともに、毎月の実施状況報告を受けて安全性を確認しています。また、四半期毎に施設・電気・車両・財務の各種検査・補修状況・経費の執行状況の詳細な確認検査を行い、改善等の指示はありませんでした。

さらに、外部有識者により構成する「安全評価外部委員会」（令和元年10月4日及び令和2年2月28日に開催）及び沿線自治体等と安全に関する意見交換を行う「安全連絡協議会」（令和元年7月31日開催）において、更なる安全の向上を図るための評価・助言を受けて輸送の安全確保に万全を期しています。

【第8回 安全評価外部委員会】

開催日：令和元年10月4日 開催場所：WILLER 株式会社 東京オフィス

概要

- ・平成31年度上期運転事故等の発生状況（WILLER TRAINS(株)）
- ・ヒューマンエラーの現状（WILLER TRAINS(株)）
- ・軌道短絡について（WILLER TRAINS(株)）
- ・平成30年度豪雨災害補強内容紹介（北近畿タンゴ鉄道(株)）

【第9回 安全評価外部委員会】

開催日：令和2年2月28日 開催場所：WILLER 株式会社 東京オフィス

概要

- ・令和元年度運転事故等の発生状況（WILLER TRAINS(株)）
- ・ヒューマンエラーの現状（WILLER TRAINS(株)）
- ・災害への対応について（北近畿タンゴ鉄道(株)）
- ・再構築計画の見直しに向けて 設備修繕の現状について（車両、施設、電気）（WILLER TRAINS(株)）

(1) 令和元年度の設備投資事業

国、京都府、兵庫県、沿線自治体の支援を受け、施設の改良・更新を行い、設備の保安度向上を図りました。

設 備	項 目	具 体 策
信 号	電気転てつ器更新	宮津、与謝野 2 駅 1 2 組
	補助制御盤取替	網野駅
	信号機の LED 化	大江、牧、荒河かしの木台 3 駅 21 基
信 号	保安設備（警報器・遮断機）更新	峰山～網野間 第一赤坂踏切
防 護	落石等防護設備（法面改良）	宮津～天橋立間
	地震計更新改良	宮津線 2 箇所、宮津線 1 箇所
	災害防止（法面補強）	打越山 T 附近（舞鶴）、 下山 T 附近（宮津）
停車場	こ線橋改築	丹後由良駅
	上屋改築	宮津駅
線 路	コンクリートマクラギ化	与謝野～丹後大宮間ほか 3 区間 5 0 0 本
	合成マクラギ化	野田川橋梁、鎌田橋橋梁 2 7 3 本
電 路	木柱のコンクリート化	西舞鶴～四所間ほか 6 区間 5 6 本
変電所	遮断機交換	宮津変電所 直流高速遮断機 2 台
車 両	車両設備	特急用エンジン・変速機購入各 1 基 普通用エンジン・変速機購入各 1 基
	車両更新	KTR 3 0 0 形車両購入 1 両

(2) 令和 2 年度の設備投資計画

国、京都府、兵庫県、沿線自治体からの支援により、施設の改良・更新を行って設備保安度の向上を進めてまいります。

設 備	項 目	具 体 策
信 号	電気転てつ器更新	丹後由良、栗田、天橋立 3駅8組
	保安設備（警報機・遮断機等）更新	京丹後大宮駅構内 口大野踏切
防 護	落石等防護設備（法面改良等）	天橋立～岩滝口間
線 路	コンクリートマクラギ化	天橋立～岩滝口、峰山～網野間 2区間 497本
	合成マクラギ化	時雨橋梁（宮津～天橋立間） 五反田橋梁（天橋立～岩滝口間） 水戸谷川橋梁（与謝野～京丹後大宮間） 田鶴野橋梁（コウノトリの郷～豊岡間） 283本
	トンネル改良（覆工補強）	喜多～辛皮間（普甲トンネル） 13箇所
電 路	木柱のコンクリート柱化	久美浜～コウノトリの郷間 50本
変電所	遮断機交換	二俣変電所 直流高速遮断機2台
通信設備	列車無線装置更新（デジタル化）	特急車両 3編成 6両
車 両	車両設備	特急用エンジン・変速機購入各1基 普通用エンジン・変速機購入各2基
	車両更新	KTR300形車両購入 2両
給油設備	給油タンク更新	西舞鶴駅構内 1基

4 令和元年度「安全に関する状況」について

令和元年度における当社施設の保守管理において、第三種鉄道事業者として鉄道事業法施行規則に基づき報告すべき不具合、事故の発生はありませんでした。平成30年7月6日からの7月豪雨及び9月30日の台風24号による豪雨による応急工事については速

やかに完了し、復旧工事については令和元年度末に完成しました。また、連続して被害を受けております区間防災工事については、令和元年度から2年に亘り工事を実施しており、令和2年度には（5箇所）完了予定となっています。

5 安全管理体制

社長を最高責任者とし、それぞれの管理者の責務及び権限を明確にしたうえで、それぞれが役割を担い、安全を推進します。

(1) 安全管理体制



(2) 管理者の役割

役 職	役 割
社 長	全社的な安全管理体制の確保及び安全意識の徹底を図り、輸送の安全の確保に関する最終責任を負う。
安全統括管理者 (施設統括本部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
施設管理者 (施設管理課長)	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を統括する。

安全報告書の内容や当社の取組みについて、御意見をお寄せください。

連絡先 北近畿タンゴ鉄道株式会社

電 話 0 7 7 2 - 2 5 - 1 6 7 9

F A X 0 7 7 2 - 2 2 - 8 1 4 1

時 間 月～金 9：00～18：00(土・日・祝日を除きます。)